

あたまにカラダに、
元気チャージ！



朝ごはんのチカラ



朝ごはんで、 学力も体力もアップ！？

子どもは眠りから覚めても、頭や体はまだ起きていません。頭にスイッチを入れるには、ごはんやパンなどの炭水化物を摂ることが大切です。炭水化物は、脳にとって唯一のエネルギー源となるブドウ糖を作る栄養素で、摂取することで脳にエネルギーを与え、学習意欲や集中力を高めてくれます。さらに肉や魚などのたんぱく質は、体温を上げて体を自覚させてくれる栄養素。体が十分にウォーミングアップされ、一日を元気にスタートさせてくれます。

みなさんは栄養バランスの良い朝ごはんを、毎日子どもに作ってあげていますか？
朝からきちんと栄養を摂ることは、子どもの頭や体を元気にし、健やかな成長を促します。
毎朝しっかり食べる習慣をつけさせましょう。



知っておきたい！ 朝ごはんのチカラ

筋肉や骨、血液をつくるたんぱく質や無機質は、子どもの成長に欠かせません。それらを多く含む肉や魚、卵、(牛乳)などを朝から食べることは、体を丈夫にし、健康を育みます。さらにお腹を整えるチカラがある野菜や果物も朝に吃るのが大事。排便は一日の体調を左右する重要な生理現象で、うんちが出ないとだるくなったり、元気がでなかったりということがあります。朝からしっかり食事を摂る習慣をつけましょう。

朝ごはんを 食べるときのポイント

食事から栄養を吸収するには、バランスが必要です。脳にエネルギーを与えようと思ってごはんやパンだけを食べても、ブドウ糖は効率よく吸収されませんし、偏った栄養は体のバランスを崩してしまいます。五大栄養素といわれる炭水化物、たんぱく質、脂質、無機質、ビタミンのすべてを含むバランスのよい朝ごはんを作るよう心掛けてください。

早寝・早起きで、 生活リズムを正しく

「朝、食欲がない」という子どもはいませんか？食欲がない要因として、遅い夕食や遅い就寝などがあげられます。家族ぐるみでこれらを改善し、早寝・早起きを心掛けることが大事。朝ごはんをきちんと食べる習慣は、子どもの成長や集中力を高めるだけでなく、体にリズムを与えて、健康的な生活を送ることにもつながっているのです。

毎月19日は
「食育の日」です
家族そろって
楽しい食卓を
囲みましょう！

